

炭水化物の消化実験

しらべたいことがわかるような
タイトルをつけよう。

きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。

おもちを食べ過ぎたときに、おばあちゃんに
言われて大根おろしを食べたらすっきりした。
びっくりして、体の中で何が起きているのかを
調べることにした。



実験のやり方

つけたものや、しらべるやり方を書こう。
絵やしやしんもつかうとわかりやすいぞ。

じゃがいもからでんぷんを取り出し、加熱してでんぷん糊（のり）に
したものを大根汁で分解させる。8時間ほど反応させてから、につめる。

予想

しらべる前に、結果を予想して書く。
予想した理由も書こう。

でんぷんは分解すると糖（とう）になるらしいので、あまい液ができる。

名前をわすれずに書こう。
年 組 名前（ ）

結果

実験の結果だけを書く。表やグラフ、
写真を使うとわかりやすいぞ。

でんぷん糊（のり）に大根汁を加え
たら、どろどろした糊（のり）状
からさらさらした液になったけど、
あまくはなかった。数時間すると、
ほんかにあまみを感じられた。
これを煮つめたら、ほんのりあま
い水あめができた。



わかったこと

結果からわかったこと、考えたことを
書く。予想とちがったときは、どうして
そうなったのか考えてみよう。

どろどろに固まったでんぷんは、大根汁でさらさらに分解されて、
ほんのりとあまい糖（とう）に変わった。

まとめ

結果とわかったことをまとめて、
次にしらべてみたいことを書こう。

食べ過ぎて胃にでんぷんがつまった状態のとき、大根の汁を飲めば、
さらさらになって、消化を助けることがわかった。分解されたでんぷんは
糖（とう）に変わり、あまくなることもわかった。胃腸薬にも大根と同じ
成分が入っているらしいので、次は胃腸薬を使って水あめをつくってみたい。